



令和3年10月19日

市政記者クラブ 様

経済局イノベーション推進部次世代産業振興課
担当：水谷、白井 電話：972-2420
(名古屋経済記者クラブ同日発表)

令和3年度フィールド活用型社会実証支援「Hatch Meets」

実証プロジェクト



車載カメラ映像による道路附属物の状態検知技術のさらなる高度化を
目指し、AI を用いたシステム構築の検討を実施します！

このたび、フィールドを活用した社会実証を推進する産学官連携のネットワークコミュニティ「Hatch Meets」において、実証プロジェクトを立ち上げ、下記のとおり、社会実証を実施しますので、取材していただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

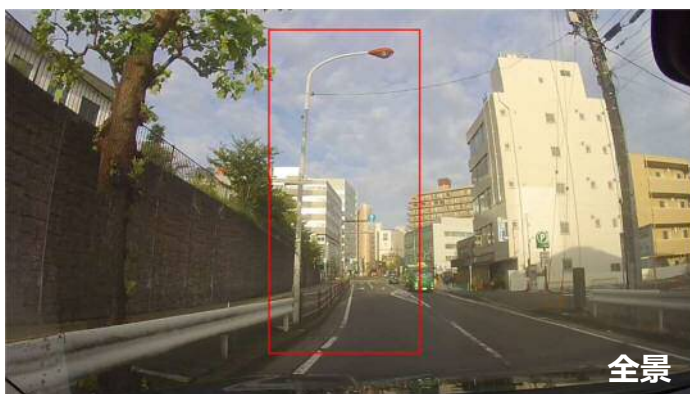
1 プロジェクトの概要

車載カメラ映像を解析することで、道路附属物の健全性を把握することができるか検証。名古屋市が同時期に実施している道路標識の点検データとも照合し、行政の点検作業と同様のレベルでの有用性があるのかについても検証を行います。

具体的には以下の2点を検証

- (1) 車載カメラの映像から道路標識の健全性の状態把握がどの程度行えるか。
- (2) 道路標識の健全性が把握できるようであれば、引き続き実証を行い、AI に学習をさせることで、AI による初見の道路附属物について判定が行えるか検証。

古河電気工業株式会社の附属物巡視支援システムを用い、ドライブレコーダーの映像から、緯度経度を基に、附属物ごとの映像として切り出すことが可能。それらの映像を基に検証を行う。



将来的には腐食や傾きなど AI による状態把握ができるようになることを目指す。

2 実施主体

- (1) フィールド 道路標識の点検業務
(緑政土木局道路維持課、熱田土木事務所)
- (2) 事業者 古河電気工業株式会社 (本社：東京都千代田区)
<https://furukawa.co.jp>

3 実証内容

- (1) 実証期間
令和3年10月11日(月)～令和4年3月31日(木)
ドライブレコーダー搭載してのデータ取得期間
令和3年10月11日(月)～27日(水)
※翌年度以降も引き続き社会実証を行う可能性があります。

(2) 実証方法

土木事務所の道路パトロール車にドライブレコーダーを搭載し、道路標識を撮影。市で実施した道路附属物の点検結果と照合し、点検結果で異常と判断された箇所について、ドライブレコーダーの映像からも同様に認識することができるのか、また、映像をAIに解析させることで、初見の標識についても同様の映像を異常箇所として認識することができるのかについて検証。

4 その他

- ・ 現地での取材にお越しいただける場合は、誠にお手数ですが、~~令和3年10月20日(水)17時までに~~次世代産業振興課までご連絡いただきますようお願いいたします。

【参考】「Hatch Meets (ハッチミーツ)」(フィールド活用型社会実証支援)について

本市及び民間施設等を社会実証の場(フィールド)として活用するため、場の提供と課題の整理・解決をするネットワークコミュニティ「Hatch Meets」を産学官で立ち上げ、先進技術を有する企業等の提案や実証ニーズを実現するもの。

先進技術の実証ニーズを持つ企業及びフィールドを提供いただける企業を随時募集しております。

